

江南市 男女共同参画に関するアンケート調査

ご協力をお願い

市民の皆さまには、日ごろから市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本市では、平成13年度に「こうなん男女共同参画プラン～ライフスタイルの無限の可能性を求めて～」を、平成23年度には「第2次こうなん男女共同参画プラン ～支え合おう女と男～」を策定し、男女共同参画社会の形成に関する施策を推進しているところです。

そして今年度第2次プラン策定から10年が経過します。令和3年度で計画の期間は終了しますが、社会経済情勢の変化に対応するとともに、男女共同参画社会の実現に向けた取組を一層推進するために、新たな計画を策定します。

今回の調査は、この計画の見直しを行うにあたり、市民の皆さまのお考えをお聞かせいただくため、江南市にお住まいの18歳以上の男性1,000人、女性1,000人の方を無作為に選び、実施するものです。

お答えは、すべて無記名で統計的に処理しますので、個人が特定されるなど、回答された方にご迷惑をおかけするようなことはございません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和3年4月

江南市長 澤田 和延

調査票に、ご記入いただくうえでのご注意

- 回答は、封筒のあて名のご本人のお考えでご記入ください。
- 令和3年4月1日現在の内容でご記入ください。
- ご記入は黒のボールペンまたは濃い鉛筆でお願いいたします。
- 回答は、**あてはまる番号を選び、その番号に○をつけてください。**（複数回答の場合もあります。）また、記述を必要とする箇所は、ご記入ください。
- 記入後は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らず**5月6日（木）まで**に、ご返送ください。なお、市民サービス課（西分庁舎）または各支所の窓口へお持ちいただいても結構です。
- この調査資料の利用にあたっては、江南市個人情報保護条例の規定に基づき、適正に行います。また、調査内容については、この統計以外の目的に使用することはありません。

1. あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたの性についてお答えください。(〇は1つ)

- | | | |
|-------|-------|---------------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 答えたくない、わからない、その他 |
|-------|-------|---------------------|

問2 あなたの年齢についてお答えください。(〇は1つ)

- | | |
|--------|----------|
| 1. 10代 | 5. 50代 |
| 2. 20代 | 6. 60代 |
| 3. 30代 | 7. 70代以上 |
| 4. 40代 | |

問3 あなたの職業についてお答えください。(出産休暇、育児休業中の方も働いているとみなしてください)(〇は1つ、2つ以上仕事をお持ちの方は主なものをお答えください。)

※自由業とは企業との雇用関係を持たず、労働時間に縛りがない個人事業主のこと。

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1. 会社員(正社員) | 7. パート、アルバイト |
| 2. 自営業主 | 8. 専業主婦、専業主夫 |
| 3. 自由業(フリーランス)※ | 9. 学生 |
| 4. 2・3の家族従事者 | 10. 無職(専業主婦、専業主夫、学生を除く) |
| 5. 公務員、教職員 | 11. その他 |
| 6. 契約社員、派遣社員 | (具体的に:) |

問4 あなたは、結婚していますか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------|------------------------------|
| 1. 結婚している →問5へ | 3. 結婚していないがパートナーと暮らしている →問5へ |
| 2. 結婚していない →問6へ | 4. 結婚していたが、死別・離別している →問6へ |

問5 <問4で「1」または「3」と答えた方におたずねします>あなたの配偶者(パートナー)の職業は何ですか。(出産休暇、育児休業中の方も働いているとみなしてください)

(〇は1つ、2つ以上仕事をお持ちの方は主なものをお答えください。)

※自由業とは企業との雇用関係を持たず、労働時間に縛りがない個人事業主のこと。

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1. 会社員(正社員) | 7. パート、アルバイト |
| 2. 自営業主 | 8. 専業主婦、専業主夫 |
| 3. 自由業(フリーランス)※ | 9. 学生 |
| 4. 2・3の家族従事者 | 10. 無職(専業主婦、専業主夫、学生を除く) |
| 5. 公務員、教職員 | 11. その他 |
| 6. 契約社員、派遣社員 | (具体的に:) |

問6 あなたが、いま一緒に住んでいる家族は誰ですか。（一緒に住んでいる方すべてに○）

1. 一人暮らし	6. 祖父母
2. 配偶者（パートナー）	7. 孫
3. 親（配偶者の親を含む）	8. 子どもの配偶者
4. 子ども	9. その他
5. 兄弟姉妹	（具体的に： _____ ）

2. 男女の地位に関する意識についておたずねします。

問7 あなたは、次のような場面において、男女の地位は平等になっていると思いますか。

（A～Hのそれぞれについて、○は1つ）

	男性の方が非常に 優遇されている	どちらかといえば 男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば 女性の方が優遇されている	女性の方が非常に 優遇されている	わからない
A 家庭生活	1	2	3	4	5	6
B 職場	1	2	3	4	5	6
C 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
D 地域活動の場	1	2	3	4	5	6
E 政治の場	1	2	3	4	5	6
F 法律や制度の上	1	2	3	4	5	6
G 社会通念、慣習、しきたりなど	1	2	3	4	5	6
H 社会全体として	1	2	3	4	5	6

問8 あなたは、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるためには何が重要だと思いますか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 法律や制度の見直しを行い、性差別につながるものを改める
2. 男女を取り巻くさまざまな偏見や社会通念、慣習、しきたりなどを改める
3. 女性自身が経済力をつけたり、知識、技術を習得するなど、積極的に能力の向上を図る
4. 男性自身が経済力をつけたり、知識、技術を習得するなど、積極的に能力の向上を図る
5. 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図る
6. 男性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図る
7. 行政や企業などの重要な役職に女性を積極的に登用する制度を採用、充実する
8. 学校教育や生涯学習の場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
9. その他（具体的に： _____ ）
10. わからない

3. 職業・職場環境などについておたずねします。

問9 女性が職業を持つことについて、あなたの考えに近いものはどれですか。(〇は1つ)

1. 女性は職業を持たない方がよい
2. 結婚するまでは職業を持つ方がよい
3. 子どもができるまでは職業を持つ方がよい
4. 子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい
5. 子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい
6. その他(具体的に: _____)
7. わからない

問10 男性の働き方について、あなたの考えに近いものはどれですか。(〇は1つ)

1. 男性は常に職業に専念した方がよい
2. 結婚したらパートナーにあわせて仕事量を調整するべきである
3. 子どもができたら仕事量を調整するべきである
4. 子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい
5. その他(具体的に: _____)
6. わからない

問11 <問3 あなたの職業で「1. 会社員」「3. 自由業」「5. 公務員、教職員」「6. 契約社員、派遣社員」「7. パート、アルバイト」「9. 学生」と答えた方におたずねします>

あなたは、職場などにおけるセクシュアル・ハラスメント*(セクハラ、性的嫌がらせ)の経験がありますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 自分が直接経験したことがある
2. 同じ職場の女性で経験した人がいる
3. 同じ職場の男性で経験した人がいる
4. 自分を含め同じ職場では経験した人はいないと思う
5. 同じ職場で経験した人がいるかどうかわからない
6. セクシュアル・ハラスメントとはどういうものなのかわからない
7. セクシュアル・ハラスメントという言葉自体知らない
8. その他(具体的に: _____)

* セクシュアル・ハラスメント

相手方の意に反した不快な性的言動や経験(例: 身体に触れる、肉関係性をせまる、性的な質問やうわさを流したりする等)、それに対する反応によって仕事をするうえで一定の不利益を与えられたり、それを繰り返すことによって就業環境を著しく悪化させること。

問12 あなたは、セクシュアル・ハラスメントをなくすためにどのような対策が必要だと考えますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 事業主がセクハラ防止の啓発に取り組む | 6. 自分の行動に自覚を持つ |
| 2. 相談窓口を設置する | 7. 服装や態度に気を付ける |
| 3. 法律で規制をする | 8. その他 |
| 4. 被害者自らが毅然と対応する | (具体的に：) |
| 5. 団結して抗議する | 9. わからない |

問13 あなたは、女性が安心して働ける環境をつくるために、どのようなことが必要だと思いますか。(あなたが思うもの上位2つに○をつけてください)

- | |
|------------------------------|
| 1. 給料や仕事の内容、昇進などの男女差を解消する |
| 2. 職業(仕事)と家庭の両立に職場が理解し協力する |
| 3. 夫や家族が理解し協力する |
| 4. 育児・介護休業制度を定着させる |
| 5. 夫の育児・介護休業を取りやすくする |
| 6. 産前・産後・生理休暇などを取りやすくする |
| 7. 育児、保育に対する支援や施設、サービスを充実させる |
| 8. 介護、看護に対する支援や施設、サービスを充実させる |
| 9. 女性労働者に対する相談窓口などを設置する |
| 10. その他(具体的に：) |
| 11. わからない |

4. 家庭・地域生活についておたずねします。

問14 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、どう思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|----------|
| 1. 賛成 | 4. 反対 |
| 2. どちらかといえば賛成 | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば反対 | |

問15 <問4で「1. 結婚している」または「3. 結婚していないがパートナーと暮らしている」と答えた方に
おたずねします>あなたの家庭では、次のような家事を、主に誰が分担していますか。
(A~Hはそれぞれ○は1つ)

	夫、 パートナー (男性)	妻、 パートナー (女性)	夫婦	家族で 分担	その他 (※	わからない	対象者が いない
A 食事のしたく	1	2	3	4	5	6	
B 食事の後片付け、食器洗い	1	2	3	4	5	6	
C 掃除	1	2	3	4	5	6	
D 洗濯	1	2	3	4	5	6	
E 買い物	1	2	3	4	5	6	
F 家計の管理	1	2	3	4	5	6	
G 子育て	1	2	3	4	5	6	7
H 介護	1	2	3	4	5	6	7

※その他で複数該当がある場合は、詳細を次に記入してください。(例：Aは自分、Cはヘルパー)
()

問16 あなたが家事、育児、介護に関わる時間は、1日あたりどれくらいですか。
(A・Bはそれぞれ○は1つ)

	まったく 関わって いない	30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上 3時間未満	3時間以上 5時間未満	5時間以上
A 平日	1	2	3	4	5	6
B 休日	1	2	3	4	5	6

問17 子育てや子どもの育て方について、あなたのご意見に近いものはどれですか。
(A~Gはそれぞれ○は1つ)

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない
①子育てについて					
A 子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい	1	2	3	4	5
B 子どもが小さいうちは、父親は育児に専念したほうがよい	1	2	3	4	5
C 子どもの世話の大部分は、母親でできる	1	2	3	4	5
D 子どもの世話の大部分は、父親でできる	1	2	3	4	5
E 親が仕事のために、保育園など子育て支援サービスを活用してもよい	1	2	3	4	5
②子どもの育て方について					
F 子どもは、性別にこだわらず個性を伸ばすほうがよい	1	2	3	4	5
G 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てた方がよい	1	2	3	4	5

問18 あなたの生活は、次のどれにあてはまりますか。(A・Bはそれぞれ○は1つ)

※この質問における次ページにあります用語の意味は、次のとおりとします。

「仕事」	自営業主（農林漁業を含む）、家族従事者、雇用者として、週1時間以上働いていること。常勤（フルタイム）、パート、アルバイト、嘱託などは問わない。
「家庭生活」	家族と過ごすこと、家事（食事のしたく、片付け、掃除、洗濯、買い物など）、育児、介護、看護など
「地域、個人の生活」	地域・社会活動（ボランティア活動、社会参加活動、交際、つきあいなど）、学習、研究（学業も含む）、趣味、娯楽、スポーツなど

	「仕事」を重視	「家庭生活」を重視	「地域、個人の生活」を重視	「仕事」と「家庭生活」をともに重視	「仕事」と「地域、個人の生活」をともに重視	「家庭生活」と「地域、個人の生活」をともに重視	「仕事」と「家庭生活」と「地域、個人の生活」すべてを重視	わからない
A 現実の生活	1	2	3	4	5	6	7	8
B 理想（希望）の生活	1	2	3	4	5	6	7	8

問19 あなたは、現実の生活が理想（希望）の生活に近いと感じますか。（〇は1つ）

1. 感じる	4. 感じない
2. どちらかといえば感じる	5. わからない
3. どちらかといえば感じない	

問20 あなたは、仕事以外に地域・社会活動に参加した経験はありますか。（〇は1つ）

1. 現在参加している →問21へ
2. かつて参加していたが現在は参加していない →問21へ
3. 参加したことはない →問23へ

問21 <問20で「1」または「2」と答えた方におたずねします>現在どのような活動に参加していますか。または、活動していましたか。（あてはまるものすべてに〇）

1. PTAや子ども会	5. NPOやボランティア団体など民間の非営利活動団体
2. 女性の会や地域女性団体 (または男性の会や地域男性団体)	6. 教養、趣味、スポーツのサークル
3. 町内会や自治会	7. その他
4. 老人クラブや高齢者の会	(具体的に)

問 22 <問 20 で「1」または「2」と答えた方におたずねします>その活動に参加する(した)中で、性別を理由にした不平等な扱いを受けた経験はありますか。また「あり」と答えた方はどんな時にありましたか。

- | | |
|----------------|------------|
| 1. あり
(どんな時 | 2. なし
) |
|----------------|------------|

問 23 今後または引き続き、あなたが参加したい活動はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------|
| 1. PTAや子ども会 | 5. NPOやボランティア団体など民間の非営利活動団体 |
| 2. 女性の会や地域女性団体
(または男性の会や地域男性団体) | 6. 教養、趣味、スポーツのサークル |
| 3. 町内会や自治会 | 7. その他(具体的に) |
| 4. 老人クラブや高齢者の会 | 8. 参加したいと思わない |

5. 性的少数者(性的マイノリティ)についておたずねします。

問 24 あなたは、性的少数者に関する次のことについて知っていますか。
(知っているものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 性的少数者を表す言葉のうち、レズビアン(Lesbian:女性同性愛者)、ゲイ(Gay:男性同性愛者)、バイセクシュアル(Bisexual:両性愛者)、トランスジェンダー(Transgender:性同一性障害などで、心と体の性が一致しない人)の人を、それぞれの頭文字をとり、「LGBT」というものがあること。 |
| 2. 性的少数者を表す言葉のうち、性的指向(Sexual Orientation:「どのような性別を好きになるか」と性自認(Gender Identity:「自分の性をどのように認識しているか」、「心の性」)の頭文字をとり、「SOGI」というものがあること |
| 3. 本人が、公にしていなかった性的指向や性自認を表明することを「カミングアウト」と呼ぶこと |
| 4. 本人の了承なく、性的指向や性自認を暴露することを「アウティング」と呼ぶこと |
| 5. 性的少数者が雇用や健康、家族形態など、様々な面で困難な状況にあること |

問 25 あなたの周りに性的少数者の人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 自分がそうである |
| 2. 身近な人(家族、友人、知人)がそうである(カミングアウトしている) |
| 3. 身近な人(家族、友人、知人)でそれらしき人がいる(いた) |
| 4. 同じ職場、学校にいる(いた)(カミングアウトしている) |
| 5. 同じ職場、学校にそれらしき人がいる(いた) |
| 6. いない |
| 7. わからない |

問26 あなたの身近な人（家族、友人、知人）などから、性的少数者であることを打ち明けられた場合、あなたの気持ちに近いものを選んでください。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 驚くが、話を聞く | 6. 理解できないと思う |
| 2. 驚いて、話を聞かない | 7. 応援したいと思う |
| 3. 信頼してくれてうれしいと思う | 8. 応援したいと思わない |
| 4. 距離をおきたいと思う | 9. 今まで通り接する |
| 5. 理解したいと思う | 10. わからない |

問27 今の社会は性的少数者の方にとって、生きづらいと思いますか。（○は1つ）

- | |
|-----------------------|
| 1. 思う →問28へ |
| 2. どちらかといえば思う →問28へ |
| 3. どちらかといえば思わない →問30へ |
| 4. 思わない →問30へ |
| 5. わからない →問30へ |

問28 <問27で「1」または「2」と答えた方におたずねします> その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|---------------------------------|
| 1. いじめや差別等を受けている |
| 2. 制服やトイレなど生活しにくい状況にある |
| 3. 書類等で性別の記入を強要されている |
| 4. 家族や友人等に相談しづらい状況にある |
| 5. 就職、職場、待遇等で不利・不当な扱いを受けている |
| 6. 同性パートナーとの関係を認めてもらえない |
| 7. 法整備が不十分であり、婚姻や相続などで不利益を受けている |
| 8. 行政機関などの相談・支援体制が不十分である |
| 9. その他（具体的に： _____） |

問29 <問27で「1」または「2」と答えた方におたずねします> 性的少数者の方が生きやすくなるには、どのような取り組みが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|---|
| 1. 教育現場での啓発活動（性的少数者に関する講演会や授業など） |
| 2. 社会制度の見直し（パートナーシップ証明書など） |
| 3. 行政による啓発活動（広報誌やポスターによる発信、LGBT 支援宣言など） |
| 4. 性的少数者についての専門の相談機関（電話や面接相談など） |
| 5. 性的少数者の方が安心して集まれるコミュニティスペース |
| 6. その他（具体的に： _____） |
| 7. わからない |

6. DV（ドメスティック・バイオレンス）についておたずねします。

問30 あなたは、DVに関する次のことについて知っていますか。（知っているものすべてに○）

1. 配偶者や恋人など親密な関係の人から受ける暴力を、いわゆる「DV（ドメスティック・バイオレンス）」と呼ぶこと
2. DVには、なぐる、けるなど身体的暴力だけでなく、精神的、性的暴力も含まれること
3. DV被害者を支援するために、法律（「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」）が制定されていること
4. 公的機関において、相談や被害者の一時保護を行っていること
5. DVを受けている人を発見した人は、公的機関などの相談窓口または警察に通報するよう努めなければならないこと
6. その他（具体的に： _____）

問31 あなたは、DVの経験がありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 被害の経験がある →問32へ 2. 加害の経験がある →問32へ 3. 経験はない →問34へ

問32 <問31で「1」または「2」と答えた方におたずねします> その暴力はどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 身体的な暴力（なぐる、ける等）
2. 精神的な暴力（おどす、ののしる、無視する等）
3. 性的な暴力（性行為の強要、避妊に協力しない、ポルノビデオや雑誌を無理やり見せる等）
4. 経済的な暴力（生活費を入れない等）
5. 社会的な暴力（友人と会うことや実家などへの外出を制限する等）
6. その他（具体的に： _____）

問33 <問31で「1」または「2」と答えた方におたずねします> あなたは、DVを経験した時、だれかに相談したりしましたか。（あてはまるものすべてに○）

1. 相談しようとは思わなかった
2. 相談したかったが、相談しなかった
3. 公的な相談機関に相談した
4. 民間の相談機関に相談した
5. 弁護士、医師、カウンセラーなどに相談した
6. 家族、友人、先生などに相談した
7. その他（ _____）

問34 あなたは、DVについて相談できる窓口があることを知っていますか。(〇は1つ)

1. 知っている →問35へ

2. 知らない →問36へ

問35 <問34で「1」と答えた方におたずねします> 相談できる窓口についてどのようなところを知っていますか。(知っているものすべてに〇)

1. 配偶者暴力相談支援センター(愛知県女性相談センター)
2. 男性DV被害者ホットライン
3. 市役所(江南市役所福祉課、65歳以上は高齢者生きがい課)
4. 警察
5. 民間の団体や機関(民間シェルター、弁護士会、性暴力救援センター日赤なごや「なごみ」など)
6. 法務局、人権擁護委員、法テラス(日本司法支援センター)
7. その他(具体的に:)

問36 あなたは、DVを防止するために何が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 法律、制度の面で見直しを行う(罰則の強化など)
2. 犯罪の取り締まりを強化する
3. 捜査や裁判での担当者に女性を増やすなど、被害者が届けやすいようにする
4. メディア(放送、出版、新聞など)を活用して、広報・啓発活動を積極的に行う
5. 被害者のための相談窓口や保護施設を整備する
6. 家庭や学校において、男女平等や性についての教育を充実させる
7. 加害者に対するカウンセリングや更正を促すプログラムを実施する
8. 職場での男女の人権が軽視されないように、職場の人権教育を図る
9. メディアが自主的に倫理規定を強化する
10. DVを助長するおそれのある情報(雑誌、コンピューターソフトなど)を取り締まる
11. その他(具体的に:)
12. 特に対策の必要はない
13. わからない

7. 男女共同参画全般についておたずねします。

問37 あなたは、次にあげる男女共同参画に関する言葉を知っていますか。

(知っているものすべてに○)

1. 男女共同参画社会
2. 女子差別撤廃条約
3. ポジティブ・アクション（積極的改善措置）
4. ジェンダー（社会的性別）
5. 男女雇用機会均等法
6. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）
7. 女性活躍推進法（女性の職業生活における活躍の推進に関する法律）
8. パートナーシップ制度、パートナーシップ宣誓制度
9. デートDV（交際中の相手からの暴力）
10. クォータ制（女性の割合をあらかじめ一定数に定めて積極的に起用する制度）
11. リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）

問38 あなたは、男女共同参画社会（男女がともに個性と能力を発揮できる社会）を実現するために、市民として何をすべきだと思いますか。（あなたが思うもの上位3つに○をつけてください）

1. 男女共同参画に関する講座に参加するなど、自己啓発に努める
2. 生活の中の習慣、しきたりなどを見直す
3. 家庭において、子どもに対し性別に意識しない接し方をする
4. 家族が協力して家事や育児を行う
5. 家族が協力して高齢者や病人のケアを行う
6. 女性が仕事をするに対する意識（理解）を高める
7. 仕事と家庭や地域活動の両立をするために努力する
8. ボランティア活動など、地域活動に積極的に参加する
9. 市政に対する関心を深め、市政への参加意識を持つ
10. その他（具体的に： _____)
11. 特にない
12. わからない

問39 あなたは、男女共同参画社会を実現するために、企業は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(あなたが思うもの上位3つに○をつけてください)

1. 育児休業制度、介護休業制度などを整備、充実する
2. 育児休業制度、介護休業制度などを利用しやすい職場環境をつくる
3. 柔軟な働き方を取り入れる(在宅勤務やフレックスタイムなど)
4. いったん仕事をやめた人が再就職できるよう制度を整備する
5. 管理職に女性を積極的に登用する
6. 賃金や昇進などにおける男女の格差をなくす
7. 職業能力の向上のための研修や能力開発の機会を充実する
8. 男女共同参画に関する意識向上のための研修を実施する
9. 事業所内における保育施設の設置など、子育て支援を充実する
10. その他(具体的に: _____)
11. 特にない
12. わからない

問40 あなたは、男女共同参画社会を実現するために、行政は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(あなたが思うもの上位3つに○をつけてください)

1. 法律や制度の面で見直しを行う
2. 政策決定の場に女性を積極的に登用する
3. 民間企業等の管理職に女性の登用が進むよう支援する
4. 性別による悩みを相談する場を提供する(女性相談、男性相談等)
5. 女性が少ない分野(研究者等)への女性の進出を支援する
6. 保育サービスや、高齢者・介護サービスを充実する
7. 男女平等と相互理解について学習機会を充実する
8. 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など働き方の見直しを進める
9. 子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する
10. 一度仕事をやめた人の再就職を支援する
11. 男女平等と相互理解について広報、PRする
12. 性別の区分けによって配慮が必要な場面において意見が取り入れられるような体制を整える(避難所対応等)
13. その他(具体的に: _____)
14. 特にない
15. わからない

問41 あなたは、江南市が平成22年2月20日に江南市男女共同参画都市宣言を行ったことを知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている
2. 知らない

